

# 部・次長会議 要約会議録

○ 日時：平成 24 年 2 月 6 日（月）9：30～11：30

○ 場所：名寄庁舎 3 階会議室

## 1 開 会

## 2 市長あいさつ

- ・ 本年も早 1 カ月が経過。先の庁議で H24 年度の予算編成を終了することができた。遡ると、昨年の総合計画後期計画策定における事業の検討・絞り込みをはじめ、各部局の協力を感謝する。
- ・ 17 日の会派代表者会議を経て 20 日の予算発表、29 日からは定例会が予定されており、各位の協力、準備をお願いする。
- ・ 2 月は多くの冬季イベントが控えており、市民の皆さんとの交流機会として、また、不足するマンパワーを補う意味でも、職員の積極的な参加・協力をお願いする。
- ・ 本年度も残り 2 カ月。年度末及び新年度に向けて重要な時期を迎えることとなる。また、退職も含め人事異動が重なることとなるが、遅滞なく万全の態勢で取り組んで欲しい。
- ・ 南相馬市の関係は、この後、議題として協議をお願いしたい。

## 3 市長・副市長の動静（別紙）

教育委員会関係行事予定（別紙）

- ・ 市長、副市長の動静及び教育長の動静について連絡がありました。

## 4 協議事項・報告事項

（1） 市政への要望【No. 33】

- ・ 要望書の提出があった次の件について、担当部局から報告がありました。

No	受付番号	件 名	受 付年月日	要望者	担当部課
1	33	「子ども子育て新システム」における公立施設財源の取り扱いについて	H23. 12. 27	自治労名寄市職員労働組合 執行委員長 佐々木憲一	健康福祉部 こども未来課

（2）平成 23 年第 2 回定例会における検討事項の処理顛末について

【総務部・健康福祉部・経済部・市立病院】

- ・ 議員からの質問に対する検討事項の処理顛末として、次の 8 件について、各担当部局から報告がありました。

No.	件 名	担当部
1	○自主防災組織を立ち上げた町内会に対する備蓄品等の支援について 支援するモデルの町内会として実際に被災した町内会と自主防災組織を始めて立ち上げた町内会の聞取りを行い災害時避難に使用する担架や町内会の活動時に着用するカップなどの購入費用の希望から予算化を行う。 費用額の半額補助、1 町内会 3 万円限度として 5 町内会分を予算化していく。 今後、他町内会の自主防災組織の立ち上げを推奨していく。	総務部

2	<p>○生活・福祉総合相談窓口の設置について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・市民が気軽に相談できる環境を 市役所をはじめ、道・民間の機関で開設している相談窓口を一覧にした「なよろ福祉相談ガイド」（A3版両面）を作成し、広報7月号と合わせ全戸配布した。</li> <li>・現行ではどこに相談しに行ったら良いかも分からない 市民の「相談する場所がわからない」との意見には「相談案内所」の看板等を設置し、窓口の誰もが担当する係に案内できるようにする。現在、1階に置かれている総合窓口案内だけでもかなりの効果がある。 障害者自立支援法や児童福祉法の改正により、各自治体に障がい者を対象にした「基幹相談支援センター」や児童を対象とした「児童発達支援センター」「虐待防止センター」の設置が求められている状況にあることから、平成24年度より相談支援専門員の養成を図り、相談窓口の充実に努める。</li> </ul>	健康福祉部
3	<p>○エゾ鹿駆除と最終処分場の適正な運営管理について</p> <p>平成23年9月第3回定例会において、焼却処理施設設置に向けた補正予算が成立したことから、平成24年4月末の稼働を目指し、設置作業を行っている。冷凍コンテナの導入にあたっては、平成24年当初予算に計上し、4月の早い段階での導入を予定している。 施設の運営にあたっては、環境などに十分配慮し、運営する。</p>	経済部
4	<p>○備蓄米などに対して市民に不安がある、農林水産省の情報にたよらず、市民に正確な情報を公開すべきでは</p> <p>昨年<small>の</small>米の作況指数は、上川で107となり、全国的に見ても豊作傾向となりました。 この数値については、新聞各社で取り上げていた。 米の数量も十分確保され、消費生活には影響のないものとなっている。 このことから、改めて市民周知の必要はないと思われる。</p>	経済部
5	<p>○名寄市の産業を育成するためにも、国や北海道の方針によって行政を行うばかりでなく先進的な判断をもって行政にあたるべき</p> <p>1. バイオマス発電所の誘致について 木質バイオマスについては、以下の通り、広域的な取り組みにより継続的検討を進めるものとします。 名寄市・士別市が中心市となり上川北部・宗谷南部の市町村で構成する、「定住自立圏構想」においての協定事項に「低炭素社会への取り組み」として位置づけ、木質バイオマスを含む新エネルギーに関して広域での検討を図るものとしました。</p> <p>2. 公共施設での道産材使用の推進 経済産業省が進める、企業立地促進法に基づく「地域産業活性化計画」における「名寄・下川・美深地域の基本計画」において「環境・新エネルギー関連の産業の集積を目指す」として、関係地区への企業誘致として広域的な取り組みを行う計画が策定されました。 名寄市地域材利用推進方針については、関係部局と協議中であり平成24年4月1日の策定を予定し作業中です。</p>	経済部
6	<p>○JR名寄駅横開発に伴う、にぎわい創出について</p> <p>平成24年度で協議、検討します。 *（仮称）複合交通センターの平成25年4月の開設に向けて、年間を通しての活用計画による賑わいづくりを創出する。 ・入所団体との協議 ・入所団体を構成する組織との協議 ・市民会館の活用団体等との協議 * JRやバスを利用する人（学生、通勤者等）が立ち寄る場所となるよう備品の整備や工夫、貸し会議室等の多様な利用に対応できる設備や条例等を整備する。 * 周辺の企業や商店街と連動した取り組みによる人の流れを創出するための検討。 * 市外からの入り込みを図る民間の取り組みを段階的に検討する。</p>	経済部
7	<p>○市内3-6地区市街地再開発について</p> <p>ビルの現状から火災、倒壊の危険性が極めて高いことが想定されることから、行政として何らかの対策を実施できないか。</p> <p>3-6地区市街地再開発については、これまで商工会議所が主体となり検討されてきましたが、</p>	経済部

	権利関係などの問題があり極めて困難な状況にあります。 今後、複合交通センター等の建設、中心市街地の整備等が実施されますので、市街地全体の活性化や賑わいづくりのために、今後も引き続き、商工会議所などと協議します。	
8	○看護職員・医療技術職員) 医療職給与表作成のシミュレーションについて  看護師短大3卒を例に、4つのパターンの標準昇給モデルを作成。導入に伴う病院の持ち出しは、10～12年間の総額で、8,900万円～1億3,500万円程度になる。(対象職員320名程度)	市立病院

## 5 連絡事項・その他

- (1) 職員提案(予算用)の今後の取り扱いについて【総務部】
  - ・ 職員提案の今後の取り扱いについて報告がありました。
- (2) 「新・名寄市行財政改革推進計画(後期)」(仮称)策定に向けた職場議論について【総務部】
  - ・ この間の取組、今後の予定及び職員アンケート結果の概要について報告がありました。
- (3) 名寄市観光振興計画(案)について【経済部】
  - ・ 名寄市観光振興計画(案)について説明がありました。
- (4) なよろ雪質日本一フェス・ふうれん冬まつりについて【経済部】
  - ・ 冬まつりイベントの開催について連絡がありました。
- (5) 平成24年度予算にかかる主な事業一覧について【総務部】
  - ・ 平成24年度予算にかかる市民等への説明資料について、説明と内容確認の依頼がありました。

## 6 各部署の懸案事項

- ・ 南相馬市の現状及び要請について市長から報告・提案があり、次の三点について、今後、庁議等で検討することとしました。
  - ① 医療職、技術職、管理職等を中心とした職員の派遣要請に対する対応について
  - ② 子どもの夏休み期間の受入に係る要請への対応について
  - ③ 災害時における南相馬市との相互協定締結に係る要請への対応について
- ・ また、杉並区から提案のあった、災害時における基礎自治体間の水平支援を担保する条例の制定について検討していくこととした。

## 7 閉会

- ・ 新潟中越大震災の被災地である小千谷市では、時間を要したが、逆境が市民のまとまりと活気を生み復興に繋がったと伺っており、南相馬市がそうなることを信じたい。
- ・ 本市では何ができるのか。安全安心であることに満足せず、可能性があれば新たな取組みに挑戦する姿勢で業務に取り組んでいただきたい。
- ・ 4月から杉並区に職員を派遣する。杉並区の業務と東京における市の業務に対応してもらうこととなる。